

紀北家畜保健衛生所	電話	073-462-0500
紀南家畜保健衛生所	電話	0739-47-0974
紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所	電話	0735-58-1481

☆海外での鳥インフルエンザ、口蹄疫の発生状況について

平成28年度は10月現在、国内では鳥インフルエンザ、口蹄疫ともに発生しておりません。しかし、ロシア連邦・トゥヴァ共和国のウヴス・ヌール湖で6月に高病原性鳥インフルエンザウイルスが水鳥で確認されており、過去、この地域で確認された鳥インフルエンザウイルスは確認後18か月以内に日本へ侵入していることから、今シーズンは国内への高病原性鳥インフルエンザの侵入が懸念されています。

また、口蹄疫についても平成28年3月に韓国で発生が確認され、過去の日本での口蹄疫発生の前には韓国で発生が必ず確認されていることから、同じく国内への口蹄疫ウイルス侵入のリスクは高まっている状況です。

畜産農家の方には冬季を迎えるにあたり、海外からの人の往来が増加することを踏まえ、飼養衛生管理基準を徹底し、農場へのウイルス侵入を防ぎましょう。

☆農場へ病原体を侵入させないためのポイント

- ・飼養衛生管理区域の出入り口の数をも最小限にする
 - ・衛生管理区域の出入り口付近および畜舎出入り口に消毒設備を設置し、人・車両の出入りの際の消毒を徹底する
 - ・衛生管理区域専用の衣服を用意する
 - ・その日のうちに他の農場などに立ち込んだ者、帰国後1週間以内の者を立ち入らせない
 - ・他の農場などで使用した物で、家畜に触れる物は衛生管理区域に持ち込む際に洗浄・消毒する
 - ・過去2か月以内に海外で使用した衣服および靴は衛生管理区域に持ち込まないようにする
 - ・畜舎、給餌・給水設備および飼料の保管場所への野生動物の侵入を防止する防鳥ネットなどを設置する
- ※防鳥ネットは網目の大きさが2cm以下またはそれと同等の物で、破損が生じた際はすぐに修繕する
- ・畜舎の壁等に破損が生じた際はすぐに修繕する

☆適切な消毒について

適切な消毒が実施されないと、農場内に病原体が持ち込まれることになります。
以下のポイントに注意し、消毒を実施しましょう。

- ・消毒する物品が土や糞等で汚れている場合は、よく洗浄してから消毒する
- ・消毒液は毎日交換する
- ・消毒液の希釈は正確に行う
- ・水温の低下に伴い消毒薬の効果も低下するので、気温の低い日は消毒液の濃度を濃くするまたは温水で消毒する

参考) 鳥インフルエンザと口蹄疫に有効な消毒薬、希釈早見表

分類	主な商品名	効果が認められる最高希釈倍数
陽イオン系消毒薬	アストップ	2000倍
	パコマ	2000倍
塩素系消毒薬	クレンテ	3000倍
オルソ系消毒薬	ゼクトン	300倍
	トライキル	200倍
アルカリ添加消毒薬	クリアキル-100 (NaOH 又はKOH添加)	2000倍 (NaOH又はKOHを0.05-0.1%となるように添加)

表1：鳥インフルエンザウイルスに有効な消毒薬と希釈倍数

分類	商品名	効果が認められる最高希釈倍数
ヨウ素系消毒薬	クリンナップA	400倍
	ファインホール	400倍
	バイオシッド30	1000倍
塩素系消毒薬	アンテックビルコンS	2000倍
	クレンテ	2000倍
	スミクロール	1000倍
アルデヒド系消毒薬	グルタクリーン	800倍
複合消毒薬	アリバンド	400倍
NaOH添加消毒薬	クリアキル-100(NaOH添加)	2000倍

表2：口蹄疫に有効な消毒薬と希釈倍数

注) 室温で30分反応させて効果のある最高希釈倍数を示しています

希釈倍率	以下の量の消毒液を作るのに必要な原液			以下の量の原液で作れる消毒液の量		
	18リットル	100リットル	500リットル	100cc	250cc	500cc
100倍	180cc	1リットル	5リットル	10リットル	25リットル	50リットル
300倍	60cc	333cc	1.7リットル	30リットル	75リットル	150リットル
500倍	36cc	200cc	1リットル	50リットル	125リットル	250リットル
1000倍	18cc	100cc	500cc	100リットル	250リットル	500リットル
2000倍	9cc	50cc	250cc	200リットル	500リットル	1000リットル
3000倍	6cc	33cc	166cc	300リットル	750リットル	1500リットル

表3：消毒薬の希釈早見表

希釈早見表について
 〈表左〉
 例：500倍希釈の消毒薬を18ℓ作る場合
 ⇒必要な消毒薬原液は36cc
 〈表右〉
 例：250ccの原液で100倍希釈の消毒液を作る場合
 ⇒最大25ℓの消毒液を作る

気になる点や不明な点がございましたら所轄の家畜保健衛生所にご相談ください。